

おれんじ通信

56

知って支える認知症



誤嚥性肺炎

食べ物や飲み物などが誤って気管や肺に入り、そこで炎症を起こすことを「誤嚥性肺炎」といいます。認知症が進行すると、脳が委縮して飲み込む機能や咳をする力が弱くなります。そのため、口の中の食べ物の一部が食道でなく気管や肺の中に入って肺炎を起こしやすくなります。誤嚥性肺炎の予防のためには日常の「口腔ケア」、「嚥下体操」、「食事内容を整えること」が重要です。

日頃から①楽しい会話をたくさ

んすること
②顔周辺の
マッサージ
を行うこと
③バランス
の良い食事

を取ることや取り方を工夫することを考えてみてください。

誤嚥性肺炎を予防してイキイキした毎日を送みましょう。



おれんじ通信への意見をお寄せください。

問 地域包括ケア推進課 06
(4309)3013、FAX06(4309)3814

